

木全 和巳(きまたかずみ)

1961年名古屋生まれ

愛知教育大学大学院を修了後、名古屋市職員に。社会福祉学博士。
児童養護施設保育士、知的障害児施設児童指導員、情緒障害児短期治療施設セラピストを経験。社会福祉士。

日本福祉大学の教員になり、18年目。

専門分野や障害児者の福祉。愛着形成と知的機能などを遅れを伴う子どもたちの支援、特に、思春期・青年期の本人や家族支援に関心がある。知多圏域では、相談支援の地域アドバイザーをしている。いくつかの社会福祉法人、NPO法人の理事、監事も。全障研の常任委員。

主な単著書 翻訳書

『私たちはソーシャルワーカーです』 2007年 きょうされん/萌文社

『安心して豊かに暮らせる地域をつくる』 2008年 全国障害者問題研究会出版部

『児童福祉施設で生活する<しょうがい>のある子どもたちと<性>教育支援実践の課題』 2010年 福村出版

『<しょうがい>のある思春期・青年期の子どもたちと<性>—おとなになりゆく自分を育む—』 2011年 かもがわ出版

『子ども権利とオンブズワーク』2017年 かもがわ出版

『<しょうがい>と<セクシュアリティ>の相談と支援』2018年 クリエイトかもがわ

<翻訳>ミッシェル マッカーシー、デイビット トンプソン著『知的障害のある人たちの性と生の支援ハンドブック』 2014年 クリエイトかもがわ

<翻訳>シヴォーン・マクグリーン、ロブ・ハンソン著『ソーシャルワーク・ポケットブック パワーとエンパワメント』 2016年 クリエイトかもがわ